

NY マーケットレポート (2015 年 12 月 8 日)

NY 市場では、欧米の株価下落を受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的安全資産とされる円を買う動きが先行した。また、原油価格が、2009 年 2 月以来、約 6 年 10 ヶ月ぶりの安値を付けたことも影響した。その後は、原油価格が反発したことや、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。そして、原油相場が下落したことで、ノルウェー・クローネが対ドルで 2002 年 4 月以来の安値まで下落、一方、カナダドルは、原油下落に加え、カナダ中銀総裁が景気刺激に向けた手段が残っていると指摘したことも影響し、対ドルで 4 営業日続落となり、2004 年以来の安値を付ける動きとなった。

2015/12/8 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	123.12	123.40	123.06
EUR/JPY	133.77	133.79	133.52
GBP/JPY	185.29	185.79	185.09
AUD/JPY	89.07	89.68	88.94
EUR/USD	1.0869	1.0870	1.0830

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	123.20	123.01
EUR/JPY	133.88	133.49
GBP/JPY	185.29	184.08
AUD/JPY	89.15	88.47
EUR/USD	1.0883	1.0841

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19492.60	-205.55
ハンセン指数	21905.13	-298.09
上海総合	3470.07	-66.86
韓国総合指数	1949.04	-14.63
豪ASX200	5108.60	-47.09
インドSENSEX指数	25310.33	-219.78
シンガポールST指数	2876.03	-24.89

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6135.22	-88.30
仏CAC40	4681.86	-74.55
独DAX	10673.60	-212.49
ST欧州600	365.75	-6.73
西IBEX35指数	9837.10	-205.30
伊FTSE MIB指数	21538.04	-499.13
南ア 全株指数	49083.80	-776.94

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	122.98	123.10	122.74
EUR/JPY	133.96	134.00	133.50
GBP/JPY	184.59	184.63	183.78
AUD/JPY	88.69	88.88	88.27
NZD/JPY	81.66	81.72	81.28
EUR/USD	1.0893	1.0903	1.0864
AUD/USD	0.7213	0.7230	0.7187

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17568.00	-162.51
S&P500	2063.59	-13.48
NASDAQ	5098.24	-3.57
日経225 (CME)	19390	-345
カナダトロント総合	12922.47	-120.36
ロシアモスクワ指数	42236.74	-418.50
ブラジルボヘスバ指数	44443.26	-779.44

12/9 経済指標スケジュール

08:30	【豪】12月ウエストバック消費者信頼感指数
08:50	【日】10月機械受注
08:50	【日】11月マネーストックM2
09:30	【豪】10月投資貸付
09:30	【豪】10月住宅ローン約定件数
10:30	【中】11月消費者物価指数
10:30	【中】11月生産者物価指数
15:00	【日】11月工作機械受注
15:45	【スイス】11月失業率
16:00	【独】10月経常収支
16:00	【独】10月貿易収支
16:00	【独】3Q労働コスト
17:00	【南ア】10月消費者物価指数
17:30	【スウェーデン】10月個人消費
20:00	【南ア】10月実質小売売上高
21:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
23:00	【メキシコ】11月消費者物価指数
00:00	【米】10月卸売売上高
00:00	【米】10月卸売在庫

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1075.30	+0.10
NY 原油	37.51	-0.14
CMEコーン	373.50	+0.50
CBOT 大豆	876.75	-5.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.93%	0.93%
3年債	1.23%	1.22%
5年債	1.67%	1.67%
7年債	2.01%	2.02%
10年債	2.23%	2.23%
30年債	2.96%	2.96%

12/9 主要会議・講演・その他予定

・米10年債入札

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 122.94 ユーロ/円 133.59 ユーロ/ドル 1.0866

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

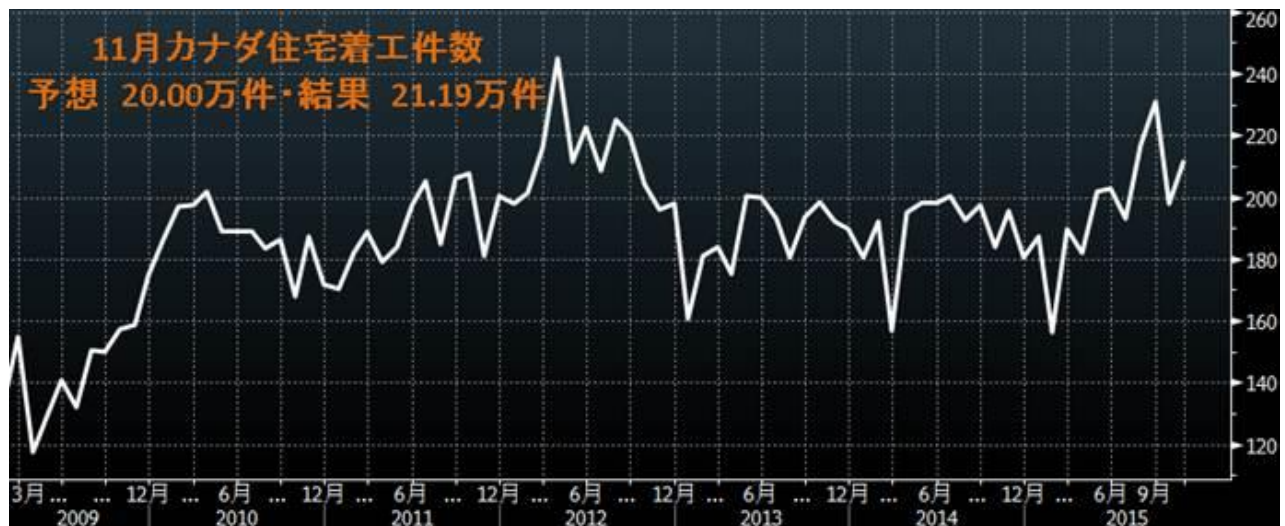
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6153.65	-69.87	ダウ 先物ミニ	17603	-153
仏 CAC40	4688.15	-68.26	S&P 500 ミニ	2062.00	-19.00
独 DAX	10713.42	-172.67	NASDAQ 100 ミニ	4655.00	-46.00

(出所: SBILM)

22:13

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月カナダ住宅着工件数 21.19 万件 (予想 20.00 万件・前回 19.77 万件)
前回発表の 19.81 万件から 19.77 万件に修正



(出所: ブルームバーグ)

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月カナダ住宅建設許可 (前月比) 9.1% (予想 2.9%・前回 -6.6%)
前回発表の-6.7%から -6.6%に修正



(出所：ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17540.34	-190.17
ナスダック	5048.37	-53.44

(出所: SBILM)

0 : 00

《 經濟指標の結果 》

10月米 JOLT 労働調査[求人件数] 538.3 万件 (予想 554.0 万件・前回 553.4 万件)
 前回発表の 552.6 万件から 553.4 万件に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《JOLT 労働調査》

10月・・9月・・8月・・7月・・6月・・5月・・4月
求人件数・・538.3・・553.4・・537.7・・566.8・・532.3・・535.7・・533.4

0:00

《経済指標の結果》

12月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 47.2 (予想 45.0・前回 45.5)

指標結果データ

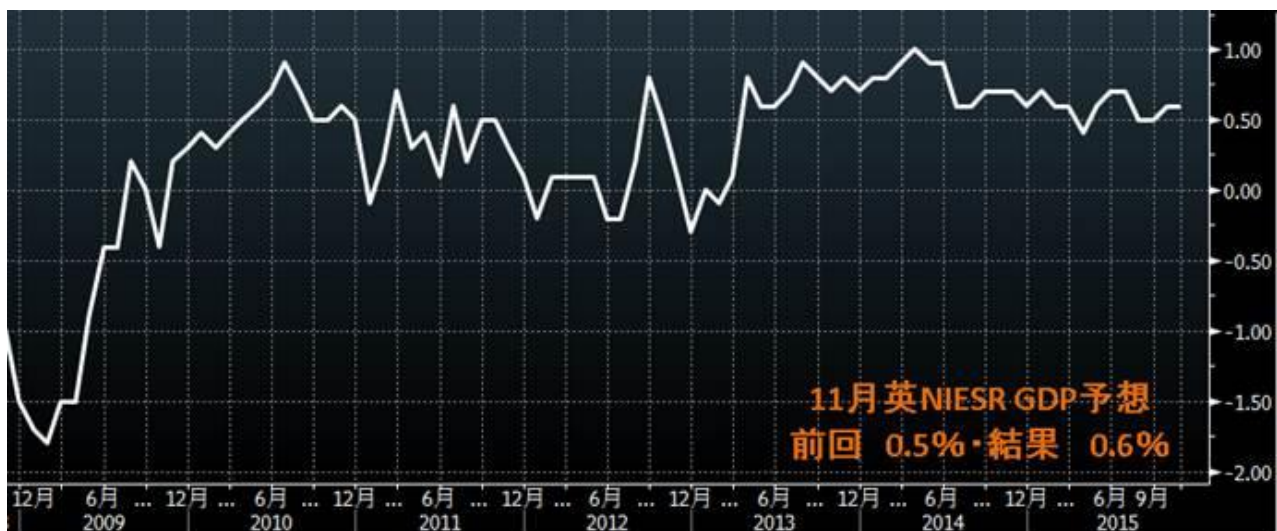
《IBD/TIPP 景気楽観指数》

12月・・11月・・10月・・9月・・8月・・7月
景気楽観指数・・・47.2・・45.5・・47.3・・42.0・・46.9・・48.1
半年先の景気先行・・41.8・・41.5・・43.5・・36.7・・42.7・・44.5
資金繰り見通し・・・59.6・・56.5・・56.8・・53.0・・58.0・・55.6
政府の政策信頼度・・40.1・・38.4・・41.5・・36.2・・39.9・・44.2

0:00

《経済指標の結果》

11月英 NIESR GDP 予想 0.6% (前回 0.5%)
前回発表の 0.6% から 0.5% に修正



(出所：ブルームバーグ)

0:30

《NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、原油先相場が 6 年 10 ヶ月ぶりの安値をつけたことで、エネルギー関連株を中心に大きく売られた。また、アジアや欧州株が軒並み下落したことも影響し、主要株価は軟調な動きとなった。

≪ 経済指標のポイント ≫

(1) NFIB（全米独立事業者協会）が発表した 11 月の米中小企業楽観度指数は、市場予想の 96.4 を下回る 94.8 となり、前月から 1.3 ポイント低下し、今年 2 番目の低水準となった。11 月は 10 の構成指数のうち、向こう数カ月間の売り上げ増を示す指数が 5 ポイント低下するなど、6 指数が低下。売り上げが低迷するなか在庫積み増しの動きも鈍っており、利益に対する期待も後退していることで、設備投資への積極度を示す構成指数も低下した。ただ、熟練労働者の採用の難しさを示す指数のほか、従業員の昇給に関する指数も上昇。労働市場が引き締まりつつあることが示された。物価に関しては、23%の中小企業が向こう数カ月以内に平均価格の引き上げを検討していると回答し、前月から 6 ポイント上昇した。これに対し価格引下げを検討しているとの回答は 5%にとどまり、インフレ圧力は足元では抑制されているものの、将来的にやや増大する可能性があることが示された。

(2) 12 月の米 IBD/TIPP 経済楽観指数は、市場予想の 45.1 を上回る 47.2 となり、前月から 1.7 ポイント上昇した。ただ、景気判断の節目となる 50 は 8 カ月連続で下回った。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大や全米産業審議会の消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50 を上回ると楽観的と判断する。

(3) 10 月の米求人件数は、前月比-15.1 万件の 538.3 万件となり、市場予想の 550 万件を下回る結果となった。そして、10 月に新たに雇用された労働者は 514 万人と、前月の 508 万人から増加。ただ全雇用者に占める新規雇用者の比率は 3.6%で前月から変わらずとなった。

①また、自発的離職者は約 278 万人、離職率は 1.9%で前月と同水準となった。前回りセッションに突入した 2007 年末時点では 2%だった。解雇者は 167 万人となり、前月の 179 万人から減少した。

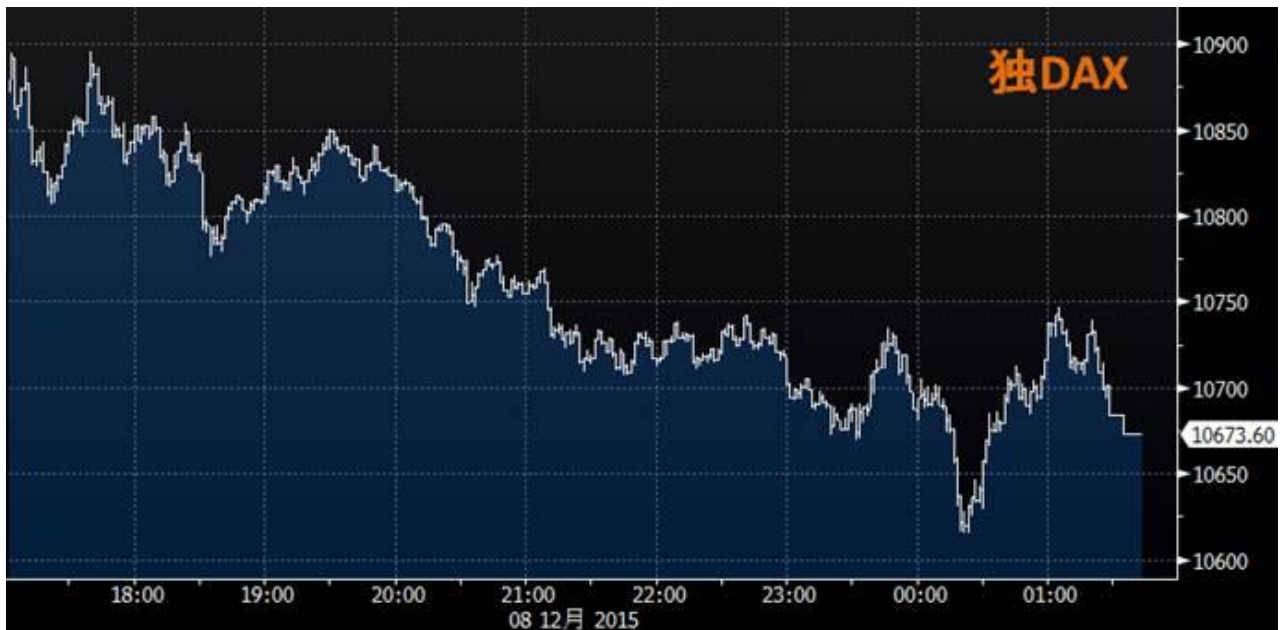
②10 月までの 1 年間に新規に雇用された労働者は 6100 万人、離職者数が 5830 万人で、差し引き 270 万人の雇用純増となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6135.22	-88.30
仏 CAC40	4681.86	-74.55
独 DAX	10673.60	-212.49
ストック欧州 600 指数	365.75	-6.73
ユーロファースト 300 指数	1437.77	-26.27
スペイン IBEX35 指数	983710	-205.30
イタリア FTSE MIB 指数	21538.04	-499.13
南ア アフリカ全株指数	49083.80	-776.94

(出所：SBILM)

≪ 欧州株式市場 ≫

欧州株式市場は、中国の貿易統計が冴えない内容だったため、中国経済の減速懸念が強まったことを受けて、主要株価は軟調な動きとなった。また、原油安が進んだことも投資家心理を冷やした。



(出所：ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17591.72 (-138.79) 、S&P500 2064.21 (-12.86) ナスダック 5093.95 (-7.87)

《欧州のポイント》

①EU統計局が発表した第3・四半期のユーロ圏 GDP 改定値は、前期比+0.3%、前年比+1.6%となり、市場予想と一致したほか、速報値から変更はなかった。在庫の積み上がりや家計消費の増加が貿易の減少分を相殺し、0.2%ずつユーロ圏成長率を押し上げた。財政支出による寄与は0.1%、半面、海外貿易は成長率を0.3%押し下げた。第2・四半期は前期比+0.4%、前年比+1.6%だった。

②アイルランド中銀は、マクロ経済に関する半期報告書を公表した。この中で中銀は、英国のEU離脱はアイルランドの輸出、経済成長、雇用に悪影響を及ぼすと同時に、金融セクターも損害を被る恐れがあるとの見方を示した。アイルランド中銀が英国のEU離脱による影響に言及した調査報告を公開したのは初めて。報告書では「さまざまなシナリオを考慮して分析した結果、英国のEU離脱は輸出、GDP、労働市場の成長に悪影響を及ぼす可能性があることが分かった」と説明。英国のEU離脱が「無秩序なやり方で現実となり、英経済に大打撃を与えた場合、わが国の金融セクターへの影響も甚大となろう」と予想した。アイルランド政府は、英国のEU離脱の是非を問う国民投票について大きなリスクとみなしている。11月にまとめた報告書では、英国が離脱した場合のアイルランドへの悪影響は他のEU加盟国より大きいとの見方を示している。

③運用資産8420億ドル（約100兆円）のノルウェー政府系ファンドは、10-12月の投資リターンがプラスになる見込みだと明らかにした。前2四半期は連続でマイナスだったが、債券を減らして株と不動産への投資を増やす戦略が奏功し持ち直した。ファンドを管理するノルウェー中銀投資運用部門の最高経営責任者は、インタビューで過去5年間に債券の保有高を劇的に減らしてきたと語った。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、原油価格の急落に加え、中国の貿易収支の悪化を受けて、中国経済の失速懸念が強まったことから逃避的な買いが入る一方、米国債入札を前にポジション調整の売りも出て、もみ合いの展開となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.96%（前日 2.96%）、10 年債が 2.23%（2.24%）、7 年債が 2.02%（2.02%）、5 年債が 1.68%（1.68%）、3 年債が 1.24%（1.23%）、2 年債が 0.94%（0.93%）。

3 : 00

◀ 米財務省 3 年債入札 ▶

最高落札利回り・・・1.255%（前回 1.271%）
 最低落札利回り・・・1.100%（前回 0.888%）
 最高利回り落札比率・・・48.33%（前回 22.93%）
 応札倍率・・・3.14 倍（前回 2.82 倍）

4 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 0.10 ドル高の 1 オンス＝1075.30 ドルで取引を終了した。

5 : 45

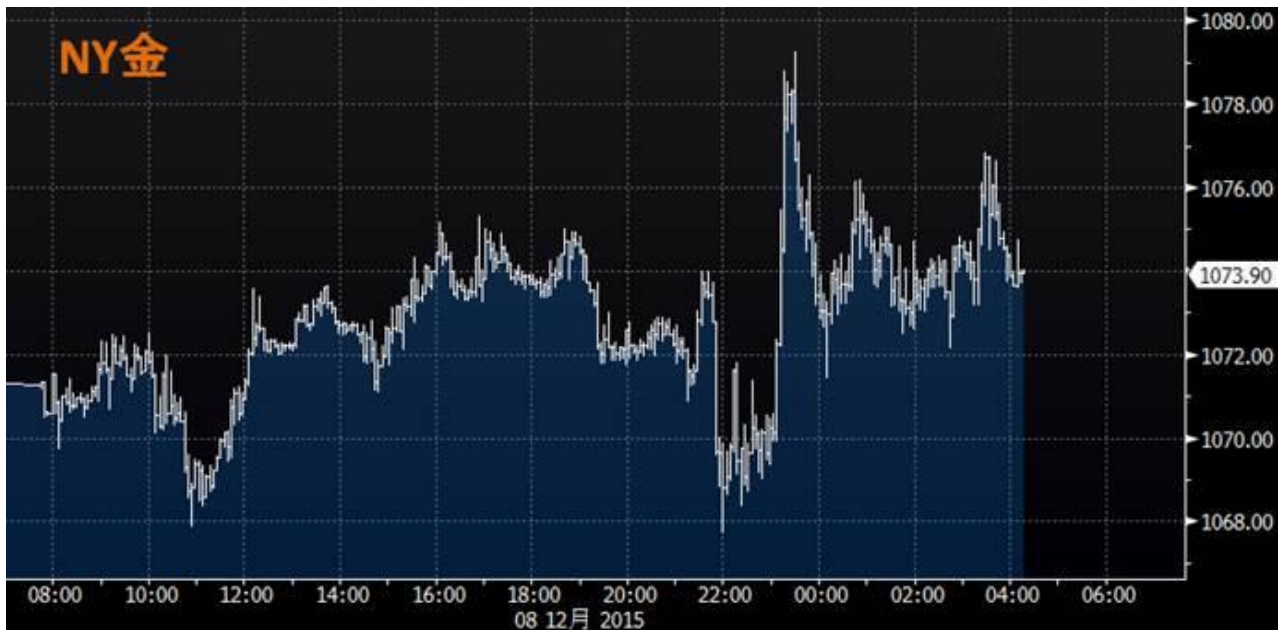
NY 原油は、中心限月が前日比 0.14 ドル安の 1 バレル＝37.51 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1075.30	+0.10
NY 原油	37.51	-0.14

（出所：SBILM）

◀ NY 金市場 ▶

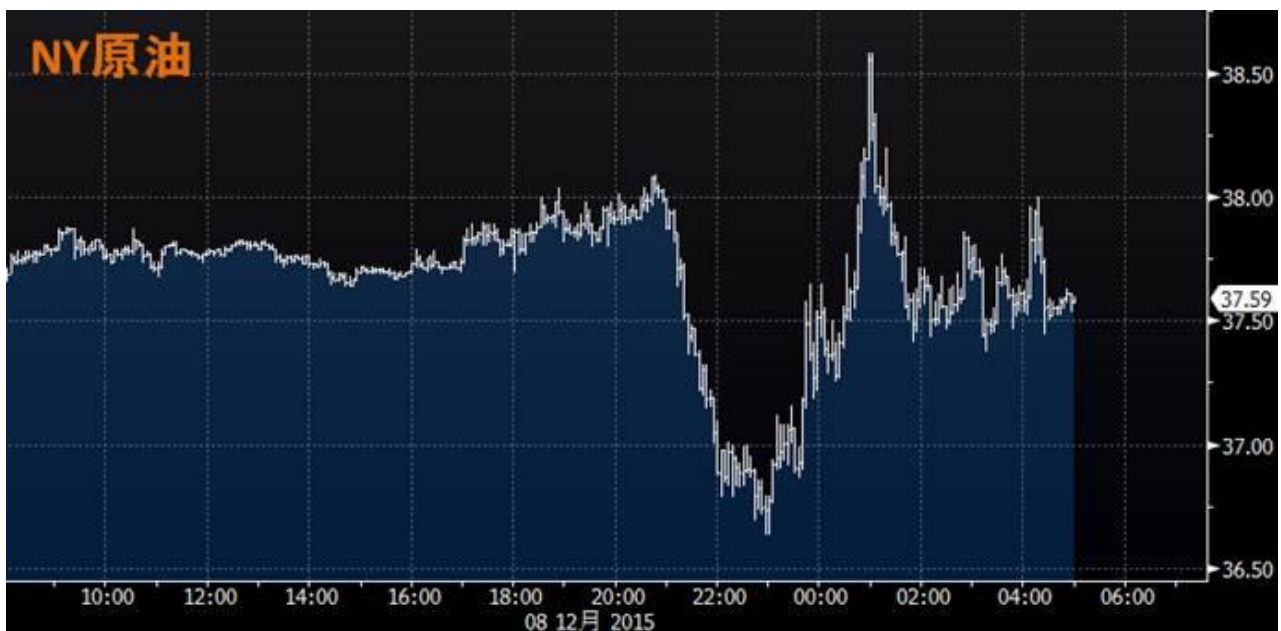
NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産としての需要が回復する一方、米 FRB が来週の会合で利上げを決める可能性が高いとの見方も圧迫要因となり、もみ合いの展開が続いた。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、OPECの減産見送りで、原油市場は下落圧力が高まり、原油安が定着するとの見方が広がり、売りが加速した。一時1バレル=36.64ドルまで下落し、2009年2月以来約6年10ヵ月ぶりの安値を更新した。ただ、売り一巡後は値頃感の買い戻しも入り、プラスに転じる場面もあった。



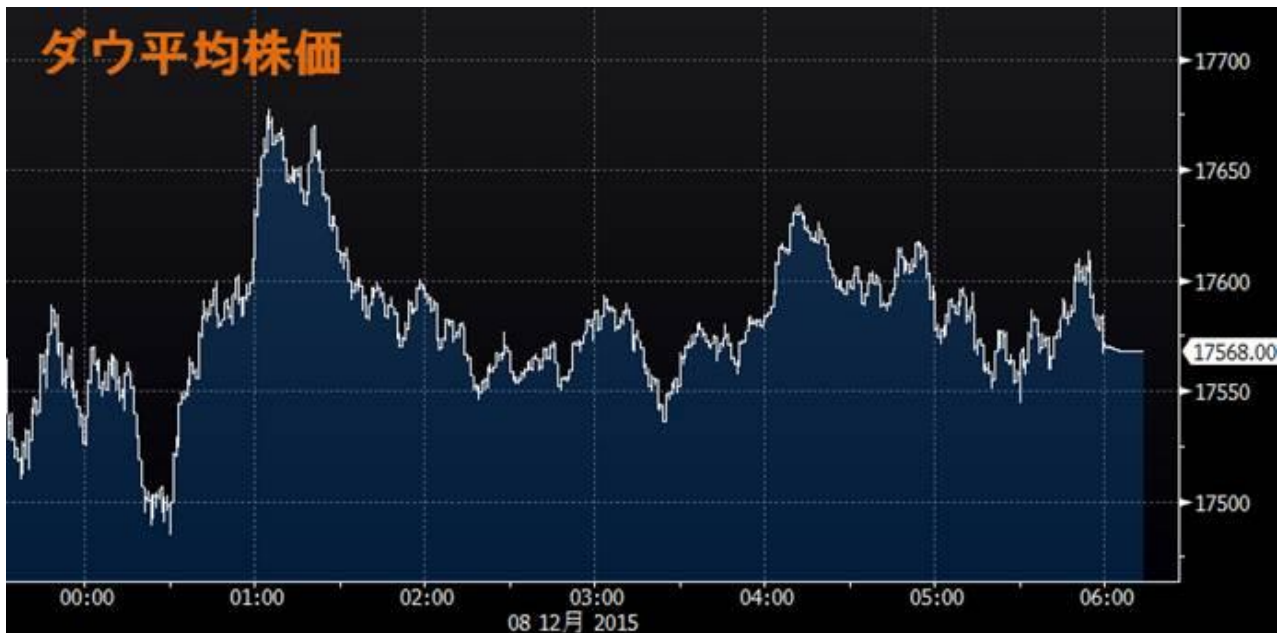
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17568.00	-162.51	17703.99	17485.39
S&P500 種	2063.59	-13.48	2073.85	2052.32
ナスダック	5098.24	-3.57	5111.73	5045.73

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、原油先物相場が6年10ヵ月ぶりの安値をつけたことで、エネルギー関連株を中心に大きく売られた。また、アジアや欧州株が軒並み下落したことも影響し、主要株価は軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で245ドル安まで下げる動きとなった。ただ、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



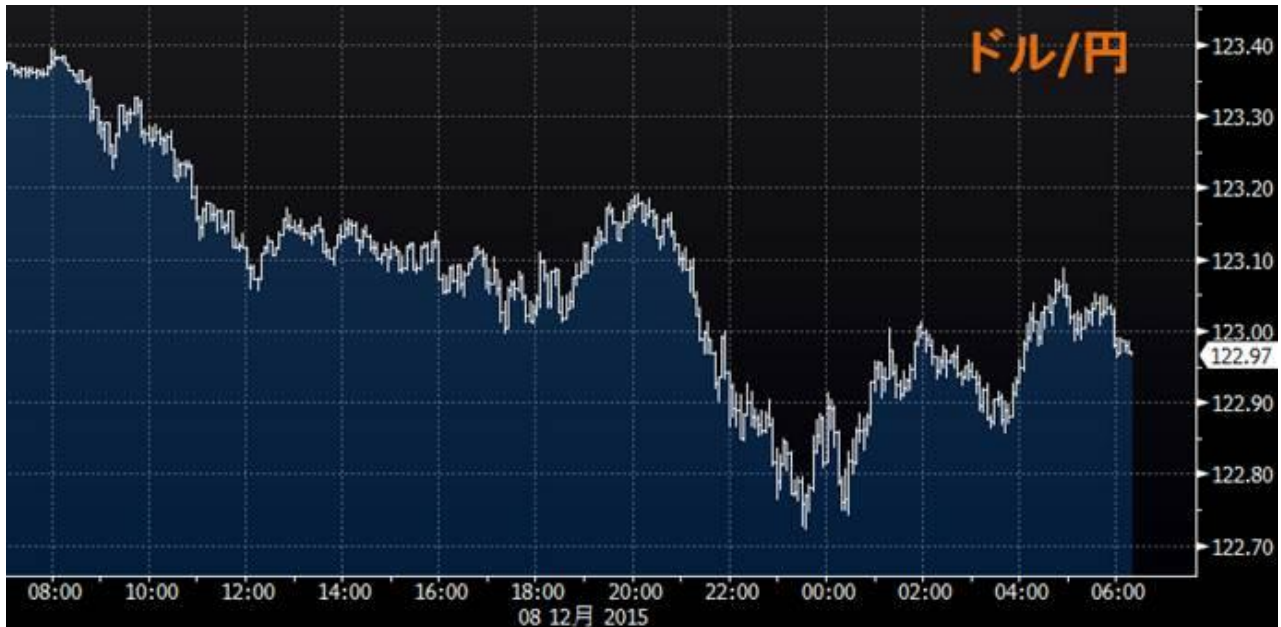
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	122.98	123.10	122.74
EUR/JPY	133.96	134.00	133.50
GBP/JPY	184.59	184.63	183.78
AUD/JPY	88.69	88.88	88.27
NZD/JPY	81.66	81.72	81.28
EUR/USD	1.0893	1.0903	1.0864
AUD/USD	0.7213	0.7230	0.7187

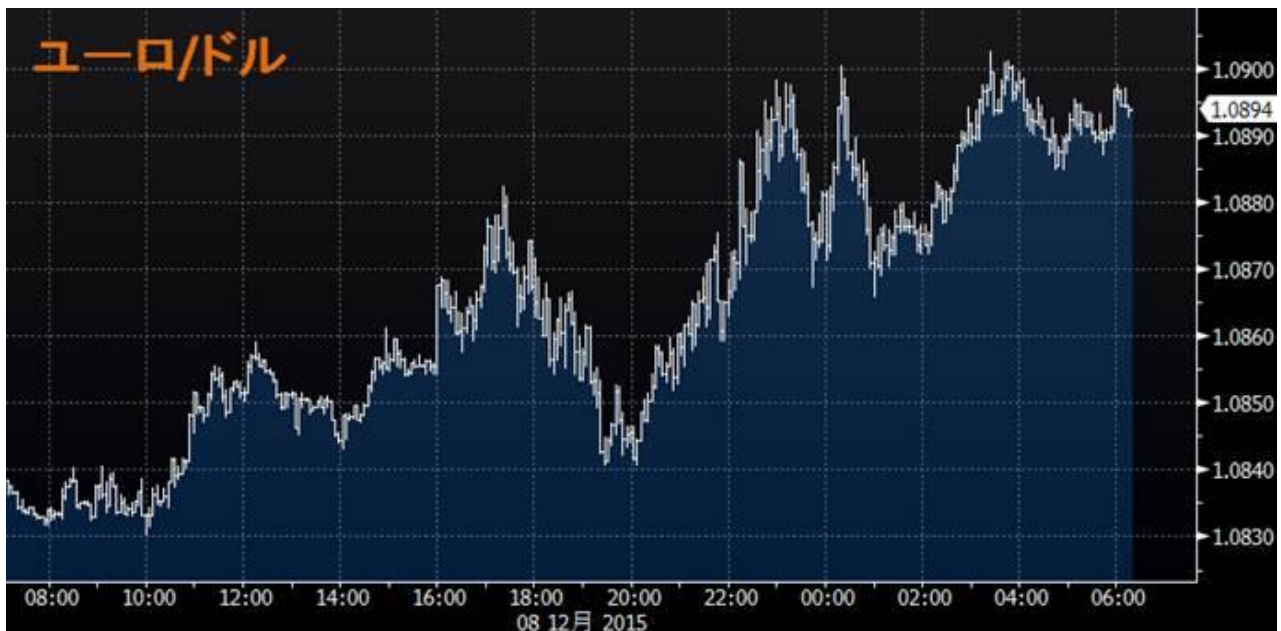
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が大きく下落したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的安全資産とされる円を買う動きが先行した。その後は、株価が下げ幅を縮小したことや、下落したエネルギー価格が反発したことから、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。